

茨城県の自動車盗難防止に向けた啓発活動を実施

～自動車盗難「犯罪率ワースト1位」が19年続く茨城県で県警・県・損保会が連携して啓発～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会（会長：中林 基・損害保険ジャパン株式会社 茨城支店・支店長）では、茨城県の2025年の自動車盗難認知件数が全国ワースト4位(540件)となっていること、また、犯罪率（人口10万人あたりの盗難認知件数）でみると、2007年から19年連続で全国ワースト1位となっていることを踏まえ、県民に盗難防止対策の注意喚起を促すことを目的として、茨城県警察および茨城県等と連名で、自動車盗難防止啓発ポスター・チラシ・動画（本編版・ショート版の2種）のツールを作成し、県内への周知啓発活動を行います。

自動車盗難の手口は年々巧妙化しており、警察庁のデータでは、令和7年には77.8%の車両が施錠（車内に鍵がない状態）された状態で盗難されています。中には、スマートキーの電波を中継して増幅させる「リレーアタック」など、短時間で盗難されてしまうケースもあります。今年度の啓発ツールでは「なっ盗難防止マン」が買い物に行っているわずかな時間で車両の盗難被害に遭う場面を取り上げ、茨城県内の盗難認知状況と共に注意喚起を行います。盗難に時間がかかる車は狙われにくいことから、「警報装置」「タイヤロック」「ドアロック」など複数の対策を講じることを呼び掛けています。

作成したポスターは県内警察署、損害保険会社等で掲出されるほか、動画は茨城県警察でのHPおよびYouTubeチャンネル掲載、SNS・防犯メールでの啓発に加えて、デジタルサイネージ・各警察署・啓発イベントでの上映が行われ、茨城県でもHP掲載やSNSでの啓発に加えて、市町村役場防犯担当課で活用される予定です。

茨城県の盗難認知件数は、2020年までは、全国ベースでは7年連続ワースト1位となっていました。茨城県警察・茨城県自動車盗難防止協議会・当損保会の取組みなどにより、減少傾向（前年比-4.8%）となっています。しかしながら、全国ベースでは依然認知件数が多い状況です。

当支部では、今後も県警等と協力し、自動車盗難防止対策の周知と自動車盗難件数の減少に向けた活動を粘り強く推進していきます。



チラシ（表面）



チラシ（裏面）



動画

■動画（YouTube）

<本編版> <https://youtu.be/KGhJ00tRZCs>

<ショート版> <https://youtu.be/vvxx9I0okA4>



本編版



ショート版

■チラシ・ポスターのデータは下記 URL よりダウンロードできます。

<チラシ> https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2026/pdf/2609_02_chirashi.pdf

<ポスター> https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2026/pdf/2609_03_chirashi.pdf